

□ 要請番号 (JL02123A01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
カンボジア	G182 小学校教育	20~45 歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2023/4・2024/1・ 2024/2・2024/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育青年スポーツ局

2) 配属機関名 (日本語)

コムルクロン小学校

3) 任地 (コンポンチュナン州コンポンチュナン) JICA事務所の所在地 (プノンペン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 2.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は首都からバスで2時間半の小さな街、コンポンチュナン州中心部に位置する、生徒約2500名が在籍する大規模小学校である。コロナ禍の学校閉鎖期間を活用した校舎・運動スペースの改装等、丁寧な学校整備がなされている。学校長は当国内では軽視される傾向にある情操教育を重要視しており、過去に同州内他校・他機関に配属となった協力隊員を時折招待し、音楽や体育の指導を依頼していた。その経緯から2022年2月に初代の長期隊員(女性)が派遣され、「音楽活動・体育教育の普及」を目標に日々現場で奮闘している。本要請はその後任を求めるもので、音楽活動・体育教育の「普及促進」及び「質の向上」が大目標となる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国では、歴史的に学校教育における情操教育(音楽、美術、図工、体育等)が軽視されてきた傾向があり、現職の教員は自身が授業を受けた経験が少ないだけでなく、教授法の研修も十分に受けていないことが多い。その折、2010年代から徐々に基礎教育現場の各学校の判断で情操教育が時間割に取り入れられるようになった。配属先も音楽は音楽隊活動(一部選抜生徒のみ)の一環として、体育は教科として時間割に取り入れているが、教員の指導力不足に課題があり、その支援を上記隊員が行っている。現隊員の活動により軌道に乗り始めた体育教育と音楽活動を継続実施したいという学校側の強い要望から、初代隊員同様に一教員として自ら教壇に立ち普及促進活動を行うことのできる後任隊員を求める本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

(1)単独もしくは同僚教員と共に、現場にある教具を活用して音楽活動・体育の授業を継続して行う(音楽は主にT1として指導する)。(2)授業前後の時間を活用し、限られた教材・環境でできる授業の展開方法を同僚教員と共に考え、同僚教員の指導の引き出しを増やす。(3)小学校教育隊員として、配属先の要請に応じて臨機応変に他教科や学校行事、校務分掌を含む多岐に渡る学校教育活動に携わり、日本での現場経験を活かした多様な選択肢を提案する。以上3点を活動の主軸として、活動詳細は派遣時の配属先の要請に沿って柔軟に計画する。尚、本現場は現地教員の教科指導経験に鑑み、協働しつつも主に隊員自身がT1として授業を行う事を前提とした案件である。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

鍵盤ハーモニカ約100台(音楽は鍵盤ハーモニカの指導が中心)、電子ピアノ1台、ボール数個、等

(教具は頻繁に消耗・更新されるため、派遣時に再確認し、その時点で存在する教具から柔軟に授業内容を考案する)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:校長1名(男性・40歳代)、教員:約75名、現隊員のカウンターパート教員1名(女性・40代・副校長)

活動対象者:小学校に所属する全生徒約2500名

*音楽活動は授業時間内に行われるが、一部選抜生徒を音楽隊として取り出して実施しており、教科化されていない。

5) 活動使用言語

クメール語

6) 生活使用言語

クメール語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(小学校教諭)

[学歴]：() 備考：

[性別]：(女性) 備考：配属先の要望

[経験]：(教員経験) 3年以上 備考：経験に基づく支援が求められるため

[汎用経験]：

- ・ピアノの指導経験

[参考情報]：

- ・小学校における音楽の指導経験(必須)

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(22~38℃位) [電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

- ・音楽の教具は限られており、国内の芸術科(音楽)のカリキュラム・教科書は2022年10月現在完成していない。日本での教員経験を土台とした工夫が強く要求される現場である。
- ・配属地域は小さな街で、食材は全て市場で調達することとなる。途上国らしい生活を楽しむ勇気と覚悟が必要である。